



# 校報 水 糸 者

No. 882

29年度・第55号

## 『財産』となる家庭学習を！

…「第1回小中連携家庭学習強化週間」へのご協力、ありがとうございました…

「第1回小中連携家庭学習強化週間」については、6月27日発行の校報・水緒871号でも紹介した、本校と角浜小、種市中の3校で取り組んでいるものです。

今回の取り組み結果については11日付の文書でも詳しくお知らせしているとおり、前回よりも数値の向上が図られ、各家庭内での工夫と頑張りが伝わってきました。

本校の家庭学習については、PTA 総会資料の38ページにも示していますが、子ども達の身となり、力となる家庭学習となるために本校が留意していることを紹介します。

「何をやっていいのかわからない」という子ども達のためには…

- ・家庭学習ヒント集を渡しています。
- ・授業と連動した、家庭学習を与えるよう努めています。
- ・時々、学級内でも家庭学習交流会を行っています。



「やる時間帯が見つけれない」という子ども達のためには…

- ・スポ少や習い事などで、多忙な日々を送る多くの子ども達。そのために、本校では毎週金曜日の「かがやきタイム」の時間に、個人やご家庭のスケジュールを考慮した、次週1週間分の家庭学習の計画を立てています。(内容や量など)
- その事で、1週間トータルで家庭学習の時間を確保できるなどの、各自の生活スタイルをマネジメント(工夫や自立・自律など)ができるようになることも願っています。

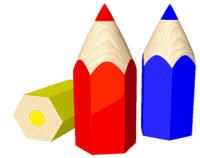
過日開催した、地区懇談会でも、各家庭の生活リズムに応じた、家庭学習時間帯をしっかりと設定しているご家庭が確実に増えてきていましたね。



## ※みんな（教職員・保護者、児童）で「家庭学習」について共通理解を図りたい事

### ①家庭学習のねらい

「学習内容の定着化」を図る。そのためには「習慣化」を育成していく。  
その結果「学力定着と学力向上」に結びついていく。



### ②家庭学習の内容

宿題（決められた課題）と一人勉強（自主学習）の両方を合わせ『家庭学習』と呼びます。  
宿題は、授業との連動（予習や復習）を基本とします。その他に、全学年で音読に取り組む。

### ③学習時間（めやす）

低学年・・・30分以上      中学年・・・45分以上      高学年・・・60分以上（読書を含まない）

### ④その他

- ・土日や祝日も家庭学習に取り組む。
- ・ながら勉強をしないで集中して取り組む。（ながら勉強は、脳を刺激する学習になっていません）
- ・午前授業や休校の日は「家庭学習の日」とし、時間に見合った量の宿題を出す。

『第1回小中連携家庭学習強化週間』についての保護者の皆さんからの感想に、「スポ少や習い事があるから、家庭学習ができない。」という内容と、「スポ少や習い事があるが、家庭学習はやる。」という内容の感想がありました。



家庭学習の継続・頑張りには、学力向上だけでなく、自立や自律の心を養い、脳の健全な発育にも大いに役立つもので、一生の財産となるものです。

また、今年度から取り組みを開始している「わが家のまなびフェスト」達成のためにも、将来が一層不透明になってきている世の中を、たくましく生き抜く子どもに育てるためにも、「家庭学習」や放課後や土・日の過ごし方について、ご家庭内でも今一度話題にしてみてください。

# 「脳力の日」は心と体、頭を耕します！



異年齢での「遊び」では、折り合いをつける力や危険を予知する力なども、高学年の子どもから低・中学年の子どもに自然に伝えられていきます。

今年度から始まった「脳力の日」。子ども達も楽しみにしているようで、水曜日の登校時刻が早くなった子もいます。

少子化や情報化社会などを含めての、社会環境の急激な変化は子ども達が『人生80年時代』を、幸せに豊かに生き抜くために欠かせない、小学校の時期に大きく発育・発達する『脳』と『骨』には厳しい時代となりつつあります。

本校の『脳力の日』は、10年後、30年後…の子ども達の笑顔を信じ、今日も取り組みを加速しています。



脳力の日には「読む」と「書く」の徹底！